



平成19年(2007年)

福井赤十字病院看護専門学校が閉校

～82年の歴史に幕～

福井赤十字看護専門学校
22人、最後の卒業式

本年度で閉校となる福井市の福井赤十字看護専門学校は、十四年、日本赤十字社福井支部病院看護養成所として看護士の養成を開始。これまでに二千三百二十二人が看護士として巣立ち、八十二年の歴史に幕を下ろした。

同校は一九二五(大正十四年)、日本赤十字社福井支部病院看護養成所として看護士の養成を開始。これまでに二千三百二十二人が看護士として巣立ち、八十二年の歴史に幕を下ろした。

制の看護大学を設置する方針を打ち出したため、同校の閉校が決まった。式では、歴史ある紺色の看護制服に身を包んだ卒業生が厳かに整列。野口正人学長が一人一人に卒業証書を手渡し、「笑顔で患者の体と心に接してほしい」と激励。近衛忠輝・同校長の「八十二年におよぶ赤十字精神は皆さんの胸に刻み込まれている」との祝辞が代読された。

下牧幸恵さん(三)が卒業生を代表し、三年間の学校生活を振り返りながら「最後の卒業生として」。

勝山北部中で、最終出陣式が行われ、卒業生が整列し、国歌が演奏された。

卒業生は、看護士の国家試験合格発表後に同病院や県内外の病院に勤務する。同校の建物は今後、研修施設や院内保育所として活用する。



▲戴帽式で看護の道への決意を新たにした



▲平成19年(2007)3月2日に最後の卒業式が行われました

福井赤十字病院看護専門学校は「日本赤十字社福井支部病院救護看護婦養成所」として大正14年(1925)4月1日に開設され、看護士の養成を開始。毎年5月には戴帽式を行い、同じ志を持つ仲間との絆を深めました。

平成14年(2002)に日本赤十字社の4年生看護大学設置の方針を受けて、同校の閉校が決定。平成19年(2007)3月2日に最後の卒業式が行われ、82年の歴史を閉じました。同校の卒業生は約2,300名にのぼり、現在もさまざまな分野で活躍を続けています。



平成19年の出来事

- ・アメリカ合衆国で初代iPhoneが発売開始
- ・バーチャルシンガーソフトウェア「初音ミク」が発売
- ・新潟県中越沖地震が発生
- ・内閣総理大臣の安倍晋三が突然の辞任、福田内閣が発足